

### 3 PBL 型科目のカリキュラムと履修条件

#### (1) PBL 型科目のカリキュラム<産業技術大学院大学履修規則第 11 条第 2 項関連>

PBL 型科目とは、以下の科目を指します。コースと科目名の対応関係は下表のとおりです。

専攻	コース	PBL 科目名	開講時期
情報アーキテクチャ専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストラテジストコース</li> <li>・システムアーキテクトコース</li> <li>・プロジェクトマネージャコース</li> <li>・テクニカルスペシャリストコース</li> <li>・サービスマネージャコース</li> <li>・グローバルスペシャリストコース</li> </ul>	情報システム学特別演習 1	第 1・2 クォータ
		情報システム学特別演習 2	第 3・4 クォータ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業アーキテクトコース</li> </ul>	事業アーキテクチャ特別演習 a1	第 1・2 クォータ
		事業アーキテクチャ特別演習 a2	第 3・4 クォータ
創造技術専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インダストリアルデザインコース</li> <li>・ものづくりマネジメントコース</li> <li>・開発設計コース</li> <li>・システム統合・制御コース</li> <li>・国際コース</li> </ul>	イノベーションデザイン特別演習 1	第 1・2 クォータ
		イノベーションデザイン特別演習 2	第 3・4 クォータ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業アーキテクトコース</li> </ul>	事業アーキテクチャ特別演習 b1	第 1・2 クォータ
		事業アーキテクチャ特別演習 b2	第 3・4 クォータ

#### (2) 情報アーキテクチャ専攻の PBL 型科目の履修条件

PBL 型科目を履修することができる者は、以下の履修条件を満たした者とします。

##### ① 10 月入学生で、翌年の PBL 履修を希望する学生

- (ア) 修了要件 40 単位として認められる単位を 12 単位以上修得していること
- (イ) (ア) の 12 単位のうち、事業アーキテクトコース配属希望の学生は、コースで設定されている推奨科目から 10 単位以上取得すること (コースと PBL の推奨科目の関係は p.10「1 (5) カリキュラムの特色等」参照)

##### ② 4 月入学生及び 10 月入学の長期履修生等 (①以外の学生)

- (ア) 修了要件 40 単位として認められる単位を 22 単位以上修得していること
- (イ) (ア) の 22 単位のうち、基礎科目 (シラバス p.3「クォータごとの配当科目一覧表」で☆が付いている科目) 以外が 16 単位以上あること (「グローバルスペシャリストコース」以外のコースのみ)
- (ウ) (ア) の 22 単位のうち、配属希望の PBL のコースで設定されている推奨科目を 14 単位以上修得すること (コースと PBL と推奨科目の関係は p.10「1 (5) カリキュラムの特色等」参照)  
※ただし、事業アーキテクトコースは 10 単位以上修得すること
- (エ) (ウ) のコースの推奨科目のうち 6 単位以上は成績評価 4 以上が望まれる

例えば、中鉢 PBL を希望する場合は、「プロジェクトマネージャ」コースか「テクニカルスペシャリスト」の2つのコース選択肢があります。したがって、②の学生が中鉢 PBL を履修するには、どちらかのコースの推奨科目を 14 単位以上、かつ基礎科目以外の単位 16 単位以上を修得し、そのほかの単位と合わせて 22 単位以上(ただし修了要件 40 単位として認められる単位のみを計上)とする必要があります。

なお、情報システム学特別演習 2 及び事業アーキテクチャ特別演習 a2 の履修条件は、次のとおりです。

- ・情報システム学特別演習 2……情報システム学特別演習 1 の単位を修得していること
- ・事業アーキテクチャ特別演習 a2……事業アーキテクチャ特別演習 a1 の単位を修得していること

### (3) 創造技術専攻の PBL 型科目の履修条件

PBL 型科目を履修することができる者は、以下の履修条件を満たした者としてします。

#### ① 10 月入学生で、翌年の PBL 履修を希望する学生

- (ア) 修了要件 40 単位として認められる単位を 12 単位以上修得していること
- (イ) (事業アーキテクトコースの学生のみ) (ア) の 12 単位のうち、事業アーキテクチャ科目群から 10 単位以上を修得していること

#### ② 4 月入学生及び 10 月入学の長期履修生 (①以外の学生)

- (ア) 修了要件 40 単位として認められる単位を 22 単位以上修得していること
- (イ) (事業アーキテクトコースの学生のみ) (ア) の 22 単位のうち、事業アーキテクチャ科目群から 10 単位を修得していること

なお、イノベーションデザイン特別演習 2 及び事業アーキテクチャ特別演習 b2 の履修条件は、次のとおりです。

- ・イノベーションデザイン特別演習 2……イノベーションデザイン特別演習 1 の単位を修得していること
- ・事業アーキテクチャ特別演習 b2……事業アーキテクチャ特別演習 b1 の単位を修得していること

## 4 履修について

授業を履修するためには、定められた期間までに以下に示す「履修申請」と、「履修計画の作成」の双方を行う必要があります。

### (1) 履修申請の時期・方法

#### ①履修申請期間

クォータごとに指定された期間内に、履修しようとする授業科目を申請してください。

履修申請期間は p.3～5 の学年暦及び授業カレンダーに記載しています。

<クォータごとの履修申請対象科目>

- ・第 1 クォータ……第 1、2 クォータの科目の履修申請
- ・第 2 クォータ……第 2 クォータの科目の履修申請
- ・第 3 クォータ……第 3、4 クォータの科目の履修申請
- ・第 4 クォータ……第 4 クォータの科目の履修申請

クォータごとに指定された履修申請期間以外での申請は受け付けないので注意してください。

## ②履修申請方法

履修申請は Web により行います。詳細は入学時に配布する「履修申請／成績確認マニュアル」又は履修申請期間前に出すポータルサイトの掲示を確認してください。

履修申請の完了後は、「履修登録確認表」を出力の上、手元に保存してください。

## ③注意事項

履修申請期間が終了すると履修する科目は確定します。確定後は履修科目の追加・削除をすることができないので十分注意してください。ただし、所定の手続きを行うことで、修了するまでの在学中、原則 1 回に限り履修申請期間外の履修修正（申請・削除）を認める場合があります。詳しくは、管理部管理課教務学生入試係までお問い合わせください。

履修申請をしない場合、授業への出席及び試験等の受験はできず、単位も修得できないので十分注意してください。

## (2) 履修計画作成の時期・方法

### ①履修計画作成の目的

各自が目指す専門職人材としての知識、スキル、コンピテンシー等を修了までに計画的に修得できるように、入学時に修了までの履修計画作成してください。履修計画は、成績評価等を考慮して学修目標を変更するなど、適宜変更可能です。

### ②履修計画の作成期間

入学時に行う専攻毎のガイダンスや、ポータルサイトの掲示板でお知らせします。

### ③履修計画の作成方法

(ア) 入学時に行うガイダンス等で示された Web サイトで、各自が目指す人材像を考慮し、履修を推奨している科目の中から、修了要件を満たすように作成し提出してください。

(イ) 提出した履修計画については、担任教員からアドバイスを受けてください。アドバイスは、学生が目指す専門職人材を考慮して、知識、スキル、コンピテンシー等を計画的に修得できるか、学修時間が確保できるか、といった点について行われます。

## (3) 履修科目の登録の上限

各期の履修登録上限は以下のとおりとなっています。以下の単位数を超えて履修申請をすることはできませんのでご注意下さい。

期間	前期 (1Q - 2Q)	夏季 休業期間	後期 (3Q - 4Q)	春季 休業期間
上限	22 単位	8 単位	22 単位	8 単位

※授業期間中に開講される集中科目は、各期の単位数に含むものとする。

## (4) 重複履修の禁止

同一クォータの同一曜日、同一時限に 2 科目以上の授業科目を履修申請することは、重複履修とされ、履修が認められません。

## (5) 同一科目の再履修

過去に単位を修得した科目について、再度同一科目を履修の希望をする場合は、所定の期間に申請書を提出することで、再履修が可能です。

再履修を行った場合、申請の取り下げはできません。また、成績は再履修後の評価で書きされ、再履修前の評価に戻すことはできません。ただし、再履修後の成績評価が「不可」の場合は、再履修前の成績評価のままとします。その他履修に関するルールは、再履修以外の科目と同様です。

再履修の対象は、以下に挙げる科目以外で、当該年度に開講される原則全科目となります。

- ①カリキュラム変更等で単位数の変更があった科目
- ②情報システム学特別演習 1・2、イノベーションデザイン特別演習 1・2、事業アーキテクチャ特別演習 a1・a2、事業アーキテクチャ特別演習 b1・b2 及びインターンシップ
- ③その他、指定する授業科目

## (6) AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）として修得した単位

入学前に AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）として修得した単位は、所定の手続きと審査を経て、入学後に修得した単位として扱われます。

## (7) 他大学院の授業科目の単位

### ①他大学院の授業科目の履修と認定

学長が認めた場合は、他大学院の授業科目を履修することができ、修得した単位を、修了に必要な単位として、10 単位を上限として認めることができます。

### ②入学前の既修得単位等の認定

学長が認めた場合は、学生が本学に入学する前に他大学院において修得した単位を、修了に必要な単位として、10 単位を上限として認めることができます。

## (8) インターンシップの単位

事前登録をすることで開始されるインターンシップについて、必要な要件を満たす場合には、所定の手続きと審査を経て単位として認めます。この単位は修了要件に含まれません。

## (9) 長期履修制度

仕事の都合や育児、長期介護等の事情により、標準修業年限（2 年）で修了することが困難な方を対象として、長期履修制度を実施しています。長期履修期間は、4 月入学生は 3 年、10 月入学生は 2 年 6 ヶ月の修業年限を推奨しています。許可された期間で支払う授業料は、2 年分の授業料と同等です。

申請手続きは入学時のみです。一度、長期履修を許可されると、後から、長期履修期間の短縮及び延長は認められませんので、十分検討の上、申請してください。

# 5 授業について

## (1) 学期

本学の授業は 1 年を 4 期に分けて行われ、それぞれを第 1 クォータ、第 2 クォータ、第 3 クォータ、第 4 クォータと呼びます。

4 月入学生は、当年度第 1 クォータから第 4 クォータまでを 1 年間、10 月入学生は、当年度第 3 クォータから翌年度第 2 クォータまでを 1 年間とします。

## (2) 授業時間

本学における授業時間は次のとおりです。